

平成 25 年 11 月 7 日
独立行政法人国民生活センター

消費生活センター等の依頼に基づいて実施した商品テスト結果をご紹介します。

吸いづらいストロー付きの乳幼児用カップ

1. 依頼内容

「ストロー付きの乳幼児用カップを購入したところ、ストローを吸っても、飲むのが困難なことがある。構造等に問題がないか調べてほしい。」という依頼を受けました。

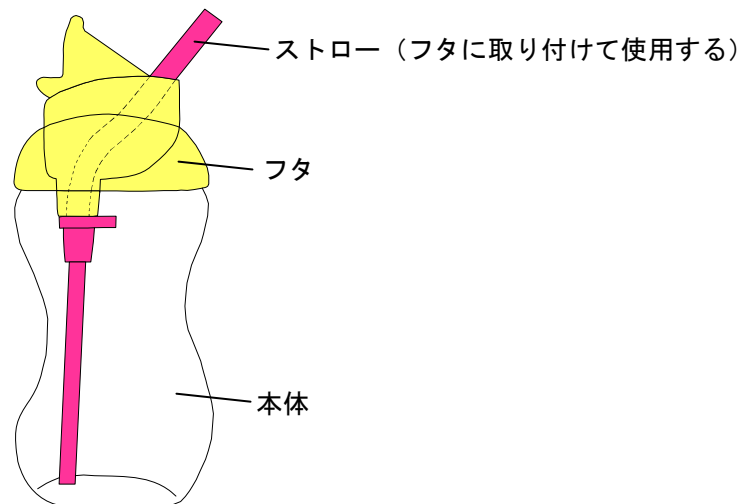
2. 調査

この商品は、対象月齢が「12 ヶ月頃から」と表示のある商品ですが、大人でも中に入れた液体が非常に吸いづらいとのことでした。

吸いづらさについて、当該品、その同型品と他のブランドのストロー付きの乳幼児用カップ（以後、「参考品」とする）2 銘柄で、モニターテストを行ったところ、参考品 2 銘柄に比べ、当該品とその同型品の方が吸いづらいと評価されました。なお、当該品とその同型品 4 検体の中でも吸いづらさには個体差があり、大人でもほとんど吸えないものがありました。

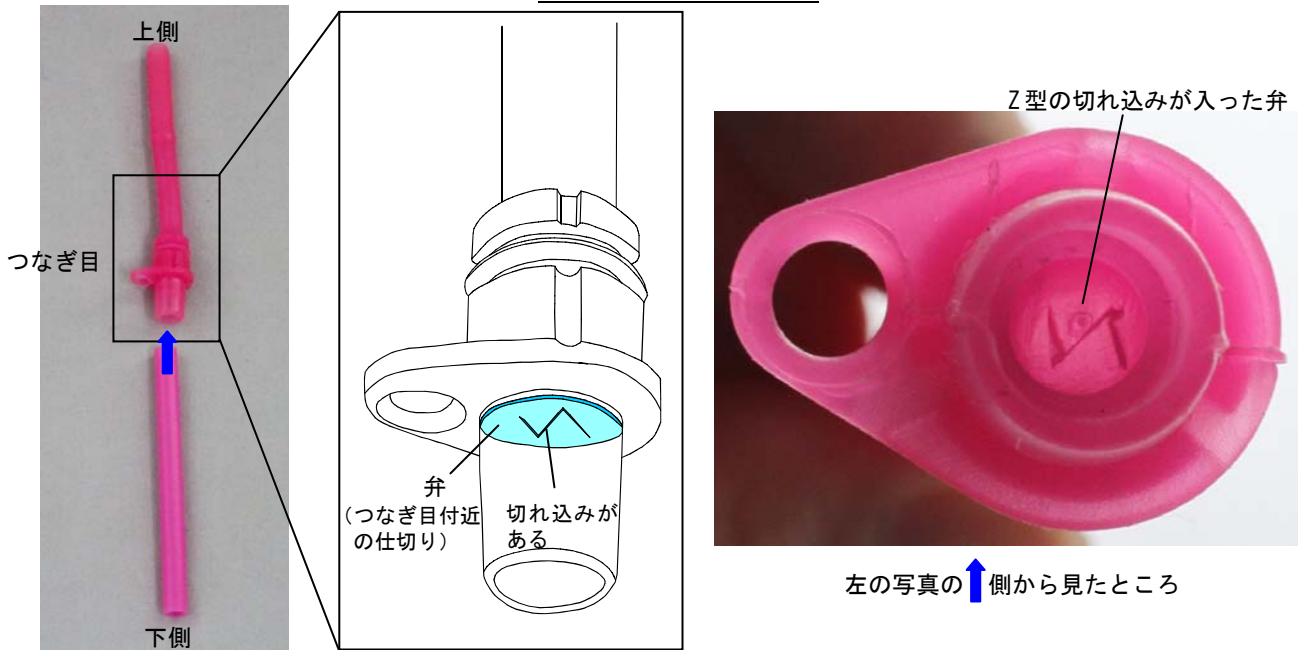
当該品は、主に本体、フタ、ストローで構成されており、ストローをフタに取り付けて使用する構造になっていましたが（図）、ストローをフタから取り外して吸ってみても、吸いづらさが確認されたため、吸いづらさの原因はストローにあると考えられました。

図. 商品の構造



そこで、ストローの構造を調べたところ、ストローは2つのパーツに分解でき、上側の部分のつなぎ目付近には仕切りがあり、その仕切りにはZ型の切れ込みがありました（写真）。この部分が弁のように働き（以後、この部分を「弁」とする）、漏れにくくなっているものと考えられましたが、弁付近をつまむと弁が開き、吸いづらさが軽減されることから、吸いづらさの原因はこの弁にあるものと考えられました。なお、参考品の2銘柄も、ストローは2つに分解できましたが、弁はありませんでした。また、当該品、同型品の中でも吸いづらさには個体差がありましたが、これは弁の切れ込みの大きさや厚さに個体差があったことに影響していると考えられました。

写真. ストローの構造



商品のパッケージには、吸いづらさについての記載はありませんでしたが、総輸入元のホームページには、この商品の特徴として、「密閉度が高く倒してもこぼれにくい構造なので、飲むにはある程度の吸引力が必要です。小さなお子様のトレーニングになります。」との記載がありました。また、ホームページには、ストローが吸いづらい場合の対策も記載されていましたが、指示どおりにストローの下側を上側にしっかり差し込んでも、吸いづらさは改善されませんでした。

3. 解決内容等

依頼センターから、総輸入元に対してテスト結果の説明を行ったところ、総輸入元からは、「自社に在庫はなく、市場に出ている分で販売終了とする。万が一、消費者からこの商品についての相談があった場合には、すみやかに返金、交換等の対応を行う。」との回答がありました。

本件問い合わせ先

商品テスト部：042-758-3165